

# アルファ・ウイン 企業調査レポート

## シーシーエス (6669 東証 JQS)

アルファ・ウイン 調査部  
<http://www.awincap.jp/>

### ● 決算速報

#### ◆ 会社概要～画像処理用 LED 照明市場のリーディングカンパニー

- ・シーシーエス（以下、同社）は、画像処理用 LED 照明市場で国内外ともにトップシェアを握るリーディングカンパニーである。主力の MV（マシンビジョン）事業では、生産ラインにおける外観検査、位置決め、文字認識等の工程で使われる LED 照明装置及びその制御装置の開発・製造・販売を行っている。顧客毎に最適な照明法を提案できるライティングソリューションが同社の強みである。
- ・2016 年 5 月に TOB により、オプテックスグループ（6914 東証一部）の子会社となった。短期的には調達力の向上、中期的には製品開発における効率化等が見込まれる。

#### ◆ 2017 年 12 月期第 1 四半期決算～前年同期間比で 18%増収、17%営業増益と好調

- ・同社の 2017/12 期第 1 四半期（2017 年 1～3 月、以下、Q1）の売上高は 2,343 百万円、営業利益は 448 百万円、経常利益は 435 百万円、四半期純利益は 309 百万円であった。決算期変更（2016/12 期より 7 月→12 月へ）の影響で前年同期比の増減率は非開示だが、月次決算に基づく前年同期間（1 月～3 月）との対比でみると、売上高は国内 MV 事業が牽引し 17.9%増、営業利益は 16.9%増（月次決算で未処理の賞与引当金等の費用 68 百万円を除外すると 34.7%増）と順調に拡大した。
- ・同社が期初に策定した通期業績見通しに対する Q1 実績の進捗率は、売上高が 28.9%、営業利益は 48.2%であった。期初計画の為替レート的前提を 1 ドル=100 円（Q1 実績 113.6 円）、1 ユーロ=110 円（同 121.1 円）とし、海外事業について円高による為替換算損を見込んだ保守的な計画ではあるが、Q1 実績は国内 MV 事業を中心に同社の想定を上回ったものと推察される。アルファ・ウイン調査部では Q2 以降の推移によって通期計画の増額修正が必要になるとみている。

#### ◆ 増減益要因分析～国内 MV 事業が伸長し営業増益に貢献

- ・前年同期間と比べた Q1 の増収額 356 百万円の寄与度をみると、国内 MV 事業が 221 百万円、海外 MV 事業 56 百万円、新規事業 78 百万円であった。為替変動（若干の円高）は 26 百万円の減収要因であった。
  - ア）国内 MV 事業（Q1 売上高 1,270 百万円、前年同期間比 21%増）は、スマートフォンや自動車に使用される電子部品や半導体等のメーカーからの旺盛な引き合いに対し、カメラやレンズ等の仕入品を組み込んだ最適なソリューション提案等で応え、大幅増収となった。
  - イ）海外 MV 事業（同順で 785 百万円、8%増）は、前年同期間に大口案件があった欧州が為替の影響もあり減収（19 百万円減）であったが、北米（24 百万円増）・アジア（52 百万円増）において営業強化が奏功し増収となり補った。
  - ウ）新規事業（同順で 288 百万円、37%増）では、アグリバイオビジネス関連の大型案件計上や、UV ビジネス（紫外線照射による樹脂硬化、電子部品製造や印刷等が対象）の堅調な推移があった。
- ・Q1 の営業利益は同様に 65 百万円増加したが、セグメント別にみると、国内 MV 事業 155 百万円、海外 MV 事業 9 百万円、新規事業 8 百万円の増収効果があり、国内 MV 事業の利益貢献が大きかったことが窺われる。一方で、販売費及び一般管理費の増加 29 百万円、円高の影響 11 百万円、月次決算で行われない決算関連費用の発生 68 百万円等の減益要因があった。

### 決算メモ

1/3

アルファ・ウイン企業調査レポート(以下、本レポート)は、掲載企業のご依頼によりアルファ・ウイン・キャピタル株式会社(以下、弊社)が企業内容の説明を目的に作成したもので、投資の勧誘や推奨を意図したものではありません。本レポートに掲載された内容は作成日における情報に基づくものであり、予告なしに変更される場合があります。本レポートに掲載された情報の正確性・信頼性・完全性・妥当性・適合性について、いかなる表明・保証をするものではなく、一切の責任又は義務を負わないものとします。弊社は、本レポートの配信に関して閲覧した投資家の皆様の本レポートを利用したこと、又は本レポートに依拠したことによる直接・間接の損失や逸失利益及び損害を含むいかなる結果についても責任を負いません。最終投資判断は投資家ご自身においてなされなければならず、投資に対する一切の責任は閲覧した投資家の皆様にあります。また、本件に関する知的所有権は弊社に帰属し、許可なく複製、転写、引用、翻訳等を行うことを禁じます。

【6669 シーシーエス 業種：電気機器】

決算期	売上高 (百万円)	前期比 (%)	営業利益 (百万円)	前期比 (%)	経常利益 (百万円)	前期比 (%)	純利益 (百万円)	前期比 (%)	EPS (円)	BPS (円)	配当金 (円)
2015/7	6,951	26.2	773	37.8	760	54.5	772	93.7	186.52	698.62	20.0
2016/7	7,376	6.1	904	17.0	880	15.9	615	-20.4	137.93	782.25	22.0
2016/12 変	3,103	9.1	258	-27.6	236	-32.2	150	-46.5	27.78	801.69	10.0
2017/12 CE	8,100	9.8	930	2.9	910	3.4	620	0.8	114.44	—	22.0
2016/12 Q1	1,805	9.7	177	7.2	166	6.0	103	4.9	19.04	—	—
2017/12 Q1	2,343	—	448	—	435	—	309	—	57.11	—	—

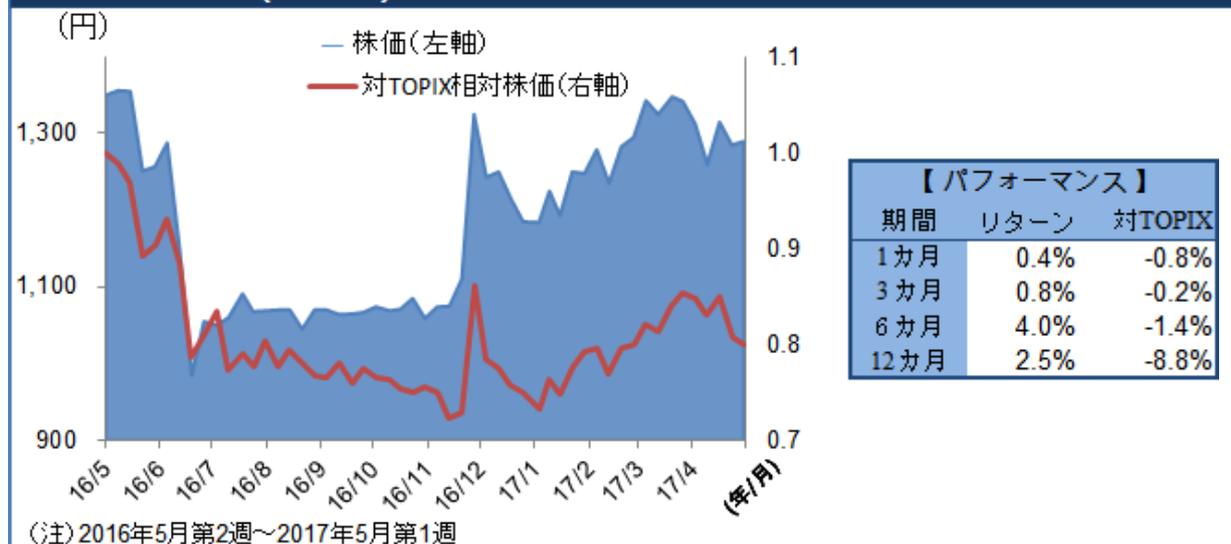
(注) CE：会社予想、2016/12期は5カ月の変則決算、2016/12期の前期比には前年同期間、2017/12期については2016/7期との対比を記載

【株価・バリュエーション指標：6669 シーシーエス】

項目	2017/5/2	項目	PER (倍)	PBR (倍)	配当利回り	配当性向
株価 (円)	1,290	前期実績	46.4	1.6	0.8%	36.0%
発行済株式数 (千株)	5,417	今期予想	11.3	—	1.7%	19.2%
時価総額 (百万円)	6,988	前期末自己資本比率	—	64.5%	前期ROE	3.5%

(注)バリュエーション指標の前期実績は、5カ月の変則決算数字により算出、予想はシーシーエスの業績予想に準拠、変則決算前の2016/7期のROEは15.1%、同期基準PERは9.4倍、PBRは1.6倍、配当利回りは1.7%、配当性向は16.0%

【株価チャート (週末値) 6669 シーシーエス】



## ディスクレーマー

アルファ・ウイン 企業調査レポート（以下、本レポート）は、掲載企業のご依頼により、アルファ・ウイン・キャピタル株式会社（以下、弊社）が作成したものです。

本レポートでは、企業の保有する独自の製品・サービスや技術など、持続的成長に必要な競争力の源泉を明確に描き出すとともに、企業の外部環境や内部環境を強み・弱み・機会・脅威の4つのカテゴリーで分析するSWOT分析の企業戦略評価への活用、KPI（業績指標）やガバナンスの確認等も行っております。

本レポートは、投資の勧誘や推奨を意図したものではありません。弊社は投資家の皆様の本レポートを利用したこと、又は本レポートに依拠したことによる直接・間接の損失や逸失利益及び損害を含むいかなる結果についても一切責任を負いません。最終投資判断は投資家ご自身においてなされなければならず、投資に対する一切の責任は閲覧した投資家の皆様にあります。

本レポートの内容は、一般に入手可能な公開情報に基づき、アナリストの取材等を経て作成されたものです。弊社及び本レポートの作成者が、掲載企業の有価証券を既に保有していること、あるいは今後において当該有価証券の売買を行う可能性があります。

本レポートに掲載された内容は作成日における情報に基づくものであり、予告なしに変更される場合があります。本レポートに掲載された情報の正確性・信頼性・完全性・妥当性・適合性について、いかなる表明・保証をするものではなく、一切の責任又は義務を負わないものとします。

本レポートの著作権は弊社に帰属し、許可なく複製、転写、引用、翻訳等を行うことを禁じます。

本レポートについてのお問い合わせは、電子メール【[info@awincap.jp](mailto:info@awincap.jp)】にてお願いいたします。